

諮問第 81 号の答申 社会生活基本調査の変更について（案）

本委員会は、諮問第 81 号による社会生活基本調査の変更について審議した結果、下記のとおり結論を得たので、答申する。

記

1 本調査計画の変更

(1) 承認の適否

平成 27 年 9 月 28 日付け総統労第 101 号により総務大臣から申請された「基幹統計調査の変更について（申請）」（以下「本申請」という。）について審査した結果、以下のとおり、統計法（平成 19 年法律第 53 号）第 10 条各号の各要件のいずれにも適合しているため、「社会生活基本調査」（基幹統計調査。以下「本調査」という。）の変更を承認して差し支えない。

ただし、以下の「(2) 理由等」で指摘した事項については、計画の修正が必要である。

(2) 理由等

ア 報告を求める事項の変更

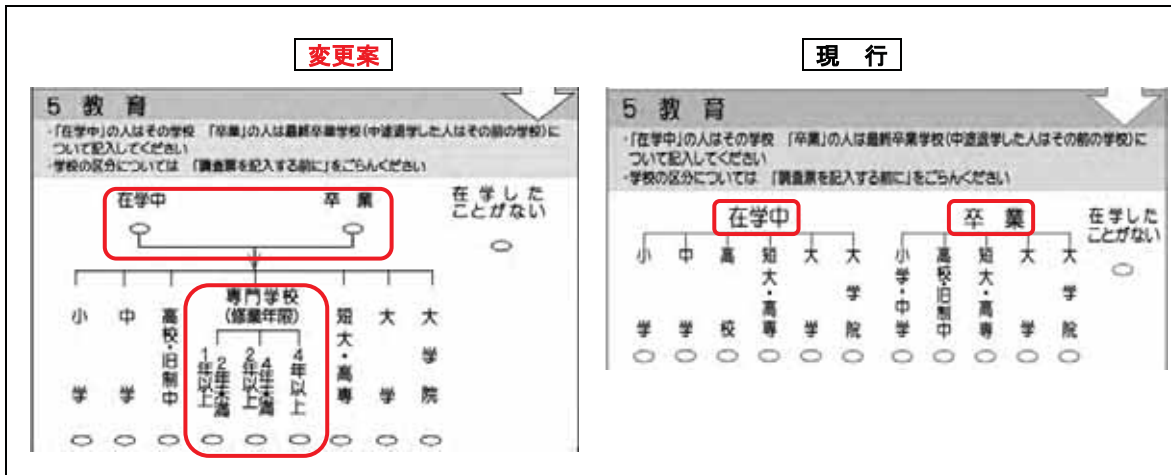
(ア) 「在学、卒業等教育の状況」の変更

本申請では、調査票 A 及び調査票 B の在学、卒業等教育の状況に係る調査事項について、以下のとおり（図 1 参照）、変更する計画である。

- ① これまで「在学中」と「卒業」に分けて在学中又は卒業した学校種を選択する形式とされていたが、「在学中」か「卒業」を選択した上で、同一の学校種の区分により在学中又は卒業した学校を選択する形式に変更する。
- ② 学校種として「専門学校」を追加し、修業年限別に把握する。

これらについては、専門学校の在学者数が多い^(注)ことを踏まえ、当該学校種の区分を新たに追加するとともに、修業年限別に把握することで従来の調査結果との時系列での比較可能性を確保するため、変更するものであり、教育と就業状態、生活時間の配分との関係のよりの的確な把握に資するものと認められることから、適当である。

図 1



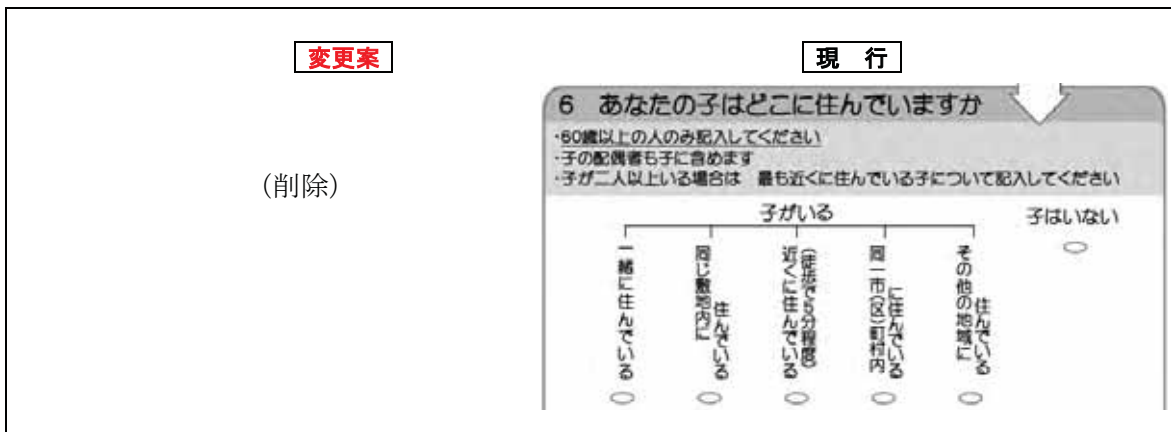
(注) 平成 27 年学校基本調査（文部科学省所管の基幹統計調査）の結果（速報）によると、専門学校（専修学校のうち専門課程を置く学校）の在学者数は約 58 万 8 千人であり、短期大学（約 13 万 3 千人）や高等専門学校（約 5 万 8 千人）より多い。

(イ) 「子の住居の所在地」の削除

本申請では、調査票 A の子の住居の所在地に係る調査事項について、図 2 のとおり、削除する計画である。

これについては、平成 23 年調査（以下「前回調査」という。）の結果において、子の有無及び当該子の住居の所在地による 60 歳以上の世帯員の生活時間の配分への影響はほとんど認められないことから、引き続き本調査事項を把握する必要性が低下したとの判断により削除するものであり、報告者負担の軽減に資するものと認められることから、適当である。

図 2



(ウ) 「ふだんの片道の通勤時間」の削除

本申請では、調査票 A のふだんの片道の通勤時間に係る調査事項について、図 3 のとおり、削除することを計画している。

これについては、本調査事項は、ふだんの片道の通勤時間の状況を把握（ユージュアル方式）するものであるが、通勤・通学時間の状況に関しては、別途の調査事項である「生活時間について」においても実際の通勤・通学時間を把握（アクチュアル方式）しており、

後者の方が調査結果の利用頻度が高いと考えられることから、本調査事項については引き続き把握する必要性が相対的に低いとの判断により削除するものであり、報告者負担の軽減に資するものと認められることから、適当である

図 3

変更案	現 行																																																																
(削除)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>18 ふだんの片道の通勤時間</p> <p>・仕事も通ずもしている人は 自宅から仕事をしている場所までについて記入してください</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>自</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>30</td> <td>45</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>分</td> <td>と</td> <td>と</td> <td>分</td> <td>時</td> <td>時</td> <td>時</td> </tr> <tr> <td></td> <td>末</td> <td>30</td> <td>45</td> <td>1</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>満</td> <td>分</td> <td>分</td> <td>時</td> <td>分</td> <td>分</td> <td>時</td> </tr> <tr> <td>宅</td> <td></td> <td>未</td> <td>未</td> <td>未</td> <td>未</td> <td>未</td> <td>未</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>満</td> <td>満</td> <td>満</td> <td>満</td> <td>満</td> <td>満</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div>	自	15	15	30	45	1	1	2		分	と	と	分	時	時	時		末	30	45	1	30	30	2		満	分	分	時	分	分	時	宅		未	未	未	未	未	未			満	満	満	満	満	満								以上								
自	15	15	30	45	1	1	2																																																										
	分	と	と	分	時	時	時																																																										
	末	30	45	1	30	30	2																																																										
	満	分	分	時	分	分	時																																																										
宅		未	未	未	未	未	未																																																										
		満	満	満	満	満	満																																																										
							以上																																																										

(エ)「ふだんの健康状態」の変更

本申請では、調査票A及び調査票Bのふだんの健康状態に係る調査事項について、以下のとおり（図4参照）、変更する計画である。

- ① これまで、ふだん仕事をしている世帯員（有業者）のみを調査対象としていたが、ふだん仕事をしていない世帯員（無業者）も含めた 15 歳以上の全ての世帯員に調査対象を拡大する。
- ② 設問文に「ふだんの生活への影響の有無などにより」との健康状態を判断する際の基準を追記する。

これらについては、有業者だけでなく無業者の健康状態が生活時間の配分や生活行動に及ぼす影響の把握に資するものであり、また、当該設問文の追記によって報告者による回答の客観性の担保に資するものと認められることから、おおむね適当である。

ただし、以下のとおり、修正する必要があることを指摘する。

- ① 子供の健康状態に関連した家事時間などについてより有用なデータを得る観点から、調査対象を 10 歳以上の世帯員に拡大すること。
- ② 国際比較可能性の向上を図る観点から、国民生活基礎調査（厚生労働省所管の基幹統計調査）の健康票における把握方法と同様、i) 健康度に係る選択肢として、「ふつう」の選択肢を設け、選択肢を 5 区分とすること、また、ii) 報告者の心理的な負担を考慮し、「悪い」の選択肢を「良くない」とすること（図5参照）。

図 4

変更案	現 行																								
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>6 ふだんの健康状態</p> <p>・ふだんの生活への影響の有無などにより もっとも当てはまるものを記入してください</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>良</td> <td>まあ</td> <td>あまり</td> <td>悪</td> </tr> <tr> <td>い</td> <td>良い</td> <td>良くない</td> <td>い</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div>	良	まあ	あまり	悪	い	良い	良くない	い					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>19 ふだんの健康状態</p> <p>・ふだんの健康状態について もっとも当てはまる状態を記入してください</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>良</td> <td>まあ</td> <td>あまり</td> <td>悪</td> </tr> <tr> <td>い</td> <td>良い</td> <td>良くない</td> <td>い</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div>	良	まあ	あまり	悪	い	良い	良くない	い				
良	まあ	あまり	悪																						
い	良い	良くない	い																						
良	まあ	あまり	悪																						
い	良い	良くない	い																						

図 5

統計委員会修正案				
6 ふだんの健康状態				
・ふだんの生活への影響の有無などにより もっとも当てはまるものを記入してください				
良	まあ良い	ふつう	あまり良くない	良くない
○	○	○	○	○

(オ)「学習・自己啓発・訓練の状況」及び「ボランティア活動の状況」の変更

本申請では、調査票Aの学習・自己啓発・訓練の状況及びボランティア活動の状況に係る調査事項について、以下のとおり（図6参照）、変更する計画である。

① これまで活動の種類ごとに「しなかった」又は「した」を選択した上で、「した」を選択した場合には、1年間における当該活動の実施頻度を記入する形式としていたが、活動の種類ごとに「しなかった」か「した」かを記入するのではなく、実施頻度欄に「0：まったくしなかった」の選択肢を追加するとともに、実施頻度が不詳の場合の選択肢として、選択肢「8：何日ぐらいしたかわからない」を追加する。

② その他、記入漏れや記入誤りを防止するための注釈等の追加、修正を行う。

これらについては、報告者負担の軽減に資するとともに、未記入を防止し、調査結果の正確性の確保等に資するものと認められることから、適当である。

図 6

変更案

19 学習・自己啓発・訓練について

・仕事・学業として行うものを除き 知識・教養を高めるため 仕事に役立てる(技術・資格取得を含む)ことなどを目的としたものを記入してください。
 ・児童・生徒・学生が授業・予習・復習として行うものや社会人の職場研修は除きます。
 ・クラブ活動や部活動は含めません。

(1)この1年間に何日ぐらいしましたか(下の0~8の数字で記入)

0: まったくしなかった
 1: 1~4日
 2: 5~9日
 3: 10~19日(月に1日)
 4: 20~39日(月に2~3日)
 5: 40~99日(週に1日)
 6: 100~199日(週に2~3日)
 7: 200日以上(週に4日以上)
 8: 何日ぐらいしなかったかわからない

英 語
 英語以外の外国語
 パソコンなどの情報処理
 商業実務・ビジネス関係
 介護関係
 家政・家事(料理・裁縫・家庭経営 など)
 人文・社会・自然科学(歴史・経済・政治・生物 など)
 芸術・文化
 その他

記入方法の例: 英語 1, 英語以外の外国語 0, パソコンなどの情報処理 0, 商業実務・ビジネス関係 0, 介護関係 0, 家政・家事 0, 人文・社会・自然科学 0, 芸術・文化 0, その他 0

記入方法の例: 英語 1, 英語以外の外国語 0, パソコンなどの情報処理 0, 商業実務・ビジネス関係 0, 介護関係 0, 家政・家事 0, 人文・社会・自然科学 0, 芸術・文化 0, その他 0

現行

21 学習・自己啓発・訓練について

・仕事・学業として行うものを除き 知識・教養を高めるため 仕事に役立てる(技術・資格取得を含む)ことなどを目的としたものを記入してください。
 ・児童・生徒・学生が授業・予習・復習として行うものや社会人の職場研修は除きます。
 ・クラブ活動や部活動は含めません。

(2)この1年間に何日ぐらいしましたか(下の1~7の数字で記入)

1: 1~4日
 2: 5~9日
 3: 10~19日(月に1日)
 4: 20~39日(月に2~3日)
 5: 40~99日(週に1日)
 6: 100~199日(週に2~3日)
 7: 200日以上(週に4日以上)

(1)どのような学習・自己啓発・訓練をしましたか

英 語
 英語以外の外国語
 パソコンなどの情報処理
 商業実務・ビジネス関係
 介護関係
 家政・家事(料理・裁縫・家庭経営 など)
 人文・社会・自然科学(歴史・経済・政治・生物 など)
 芸術・文化
 その他

記入方法の例: 英語 1, 英語以外の外国語 0, パソコンなどの情報処理 0, 商業実務・ビジネス関係 0, 介護関係 0, 家政・家事 0, 人文・社会・自然科学 0, 芸術・文化 0, その他 0

20 ボランティア活動について

・職業として行っているものは除きます。行っている活動の目的が 福祉の活動 に出ている場合は 当てはまる活動それぞれについて この申請にしたいものとして記入してください。

(1)この1年間に何日ぐらいしましたか(下の0~8の数字で記入)

0: まったくしなかった
 1: 1~4日
 2: 5~9日
 3: 10~19日(月に1日)
 4: 20~39日(月に2~3日)
 5: 40~99日(週に1日)
 6: 100~199日(週に2~3日)
 7: 200日以上(週に4日以上)
 8: 何日ぐらいしなかったかわからない

健康や介護サービスに関与した活動
 高齢者を対象とした活動
 障害者を対象とした活動
 子供を対象とした活動
 スポーツ文化・芸術・学術に関与した活動
 まちづくりのための活動
 安全な生活のための活動
 自然や環境を守るための活動
 災害に関与した活動
 国際協力に関与した活動
 その他

記入方法の例: 健康や介護サービスに関与した活動 0, 高齢者を対象とした活動 0, 障害者を対象とした活動 0, 子供を対象とした活動 0, スポーツ文化・芸術・学術に関与した活動 0, まちづくりのための活動 0, 安全な生活のための活動 0, 自然や環境を守るための活動 0, 災害に関与した活動 0, 国際協力に関与した活動 0, その他 0

22 ボランティア活動について

・職業として行っているものは除きます。行っている活動の目的が (1)福祉の活動 に出ている場合は 当てはまる活動それぞれについて この申請にしたいものとして記入してください。

(2)この1年間に何日ぐらいしましたか(下の1~7の数字で記入)

1: 1~4日
 2: 5~9日
 3: 10~19日(月に1日)
 4: 20~39日(月に2~3日)
 5: 40~99日(週に1日)
 6: 100~199日(週に2~3日)
 7: 200日以上(週に4日以上)

(1)どのようなボランティア活動をしましたか

健康や介護サービスに関与した活動
 高齢者を対象とした活動
 障害者を対象とした活動
 子供を対象とした活動
 スポーツ文化・芸術・学術に関与した活動
 まちづくりのための活動
 安全な生活のための活動
 自然や環境を守るための活動
 災害に関与した活動
 国際協力に関与した活動
 その他

記入方法の例: 健康や介護サービスに関与した活動 0, 高齢者を対象とした活動 0, 障害者を対象とした活動 0, 子供を対象とした活動 0, スポーツ文化・芸術・学術に関与した活動 0, まちづくりのための活動 0, 安全な生活のための活動 0, 自然や環境を守るための活動 0, 災害に関与した活動 0, 国際協力に関与した活動 0, その他 0

(カ)「スポーツ活動の状況及び趣味・娯楽活動の状況」の変更

本申請では、調査票Aのスポーツ活動の状況及び趣味・娯楽活動の状況に係る調査事項について、以下のとおり(図7参照)、変更する計画である。

- ① 前記(オ)と同様の変更を行うほか、趣味・娯楽活動の種類について、「映画鑑賞」及び「DVD・ビデオなどによる映画鑑賞」を「映画館での映画鑑賞」及び「映画館以外での映画鑑賞」にそれぞれ変更する。
- ② 「映画館以外での映画鑑賞」及び「カラオケ」の配置を変更する。
- ③ その他、注釈の文言を変更する。

これらについては、報告者にとっての分かりやすさ・記入のしやすさに配慮したものであることから、適当である。

図 7

変更案

21 スポーツ 趣味・娯楽について
 スポーツ・趣味・娯楽をこの1年間に何日ぐらいましたか
(しなかった場合は右の0-199の数字から記入してください)

0: まったくしなかった
 1: 1-4日
 2: 5-9日
 3: 10-19日(月に1日)
 4: 20-39日(月に2-3日)
 5: 40-99日(月に3日)
 6: 100-199日(月に4-9日)
 7: 200日以上(月に4日以上)
 8: 毎日ぐらいました(わかりません)

<スポーツ> ・単に見物している場合や 授業・研修 として行うものは 除きます ・クラブ活動や部活動は含 めます この1年間に1日もしな かった場合を含め 全ての欄 目に記入してください	野 球 (ソフトボールを含む) ソフトボール バレーボール バスケットボール サッカー (フットサルを含む) 卓 球	テニ ス バドミントン ゴ ル フ (練習場を含む) 柔 道 剣 道 ゴ ー ト ボー ル	ボウリング つ り 水 泳 スキー・スノーボード 登山・ハイキング サイクリング	ジョギング・マラソン ウォーキング、 軽い体操 器具を使った トレーニング その他のスポーツ <small>(例えば乗馬・スキーなど)</small>
<趣味・娯楽> ・授業・仕事および家事として 行うものは除きます ・クラブ活動や部活動は含 めます この1年間に1日もしな かった場合を含め 全ての欄 目に記入してください	スポーツ観戦 <small>(例えばサッカー・野球など)</small> 美術鑑賞 <small>(例えば美術館・博物館など)</small> 演芸・演劇・講演鑑賞 <small>(例えばコンサート・講演など)</small> 映画館での映画鑑賞 <small>(テレビ・ビデオ・DVDなど)</small> 映画館以外での 映画鑑賞 <small>(例えばビデオ・DVDなど)</small> 音楽会などによる クラシック音楽鑑賞 音楽会などによる ポピュラー音楽鑑賞 CD・ダウンロード などによる音楽鑑賞 楽器の演奏	邦 楽 <small>(流石、日本の邦楽の演奏を含む)</small> コーラス・声楽 カラ オ ケ 邦舞・おどろ 洋舞・社交ダンス 舞 臺 演 劇 舞 臺 演 説 茶 道 和 楽 ・ 洋 楽	編み物・手芸 趣味としての 料理・菓子作り 書芸・庭いじり・ ガーデニング 日 蘭 大 工 絵画・彫刻の制作 陶 芸 ・ 工 芸 写真の撮影・プリント 詩・和歌・俳句・小説 などの 創 作 趣味としての読書	遊 戯 将 棋 パ チ ン コ テレビゲーム・パソコンゲーム <small>(例えばパズルゲーム、シューティングゲームなど)</small> 遊園地、動物園、博 物館などの見物 キャンプ その他の趣味・娯楽 <small>(例えば乗馬・スキーなど)</small>

現 行

23 スポーツについて
 ・単に見物している場合や授業・研修
 として行うものは除きます
 ・クラブ活動や部活動は含めず

(2)この1年間に何日ぐらいましたか
(右の1-7の数字で記入)

1: 1-4日
 2: 5-9日
 3: 10-19日(月に1日)
 4: 20-39日(月に2-3日)
 5: 40-99日(月に3日)
 6: 100-199日(月に4-9日)
 7: 200日以上(月に4日以上)

(1)どのようなスポーツをしましたか 野 球 (ソフトボールを含む) ソフトボール バレーボール バスケットボール サ ッ カ ー (フットサルを含む)	つづき (1) しなかつた し 野 球 テニ ス バドミントン ゴ ル フ (練習場を含む) 柔 道 剣 道	つづき (1) しなかつた し ゴ ー ト ボー ル ボウリング つ り 水 泳 スキー・スノーボード 登山・ハイキング	つづき (1) しなかつた し サイクリング ジョギング・マラソン ウォーキング、 軽い体操 器具を使った トレーニング その他のスポーツ <small>(例えば乗馬・スキーなど)</small>
---	--	---	---

24 趣味・娯楽について
 ・授業・仕事及び家事として行うものは
 除きます
 ・クラブ活動や部活動は含めず

(2)この1年間に何日ぐらいましたか
(右の1-7の数字で記入)

1: 1-4日
 2: 5-9日
 3: 10-19日(月に1日)
 4: 20-39日(月に2-3日)
 5: 40-99日(月に3日)
 6: 100-199日(月に4-9日)
 7: 200日以上(月に4日以上)

(1)どのようなことをしましたか スポーツ観戦 <small>(例えばサッカー・野球など)</small> 美術鑑賞 <small>(例えば美術館・博物館など)</small> 演芸・演劇・講演鑑賞 <small>(例えばコンサート・講演など)</small> 映画館での映画鑑賞 <small>(テレビ・ビデオ・DVDなど)</small> 映画館以外での 映画鑑賞 <small>(例えばビデオ・DVDなど)</small> 音楽会などによる クラシック音楽鑑賞 音楽会などによる ポピュラー音楽鑑賞 CD・ダウンロード などによる音楽鑑賞 DVD・ダウンロード などによる音楽鑑賞	つづき (1) しなかつた し 楽器の演奏 <small>(例えばピアノ・ギターなど)</small> コーラス・声楽 邦舞・おどろ 洋舞・社交ダンス 舞 臺 演 劇 舞 臺 演 説 茶 道 和 楽 ・ 洋 楽	つづき (1) しなかつた し 編み物・手芸 趣味としての 料理・菓子作り 書芸・庭いじり・ ガーデニング 日 蘭 大 工 絵画・彫刻の制作 陶 芸 ・ 工 芸 写真の撮影・プリント 詩・和歌・俳句・小説 などの 創 作 趣味としての読書	つづき (1) しなかつた し 遊 戯 将 棋 パ チ ン コ カラ オ ケ テレビゲーム・パソコンゲーム <small>(例えばパズルゲーム、シューティングゲームなど)</small> 遊園地、動物園、博 物館などの見物 キャンプ その他の趣味・娯楽 <small>(例えば乗馬・スキーなど)</small>
--	---	--	---

(キ)「旅行・行楽の状況」の変更

本申請では、調査票Aの旅行・行楽の状況に係る調査事項について、以下のとおり(図8参照)、変更する計画である。

- ① これまで、活動の種類ごとに「しなかった」又は「した」を選択した上で、「した」を選択した場合には、1年間における当該活動の実施頻度を把握する形式としていたが、当該活動をしていない場合は実施頻度欄に「0」と記入することにより把握する。
- ② 国内と海外それぞれについて「業務出張・研修・その他」を削除する。

これらのうち、①実施頻度欄の変更については報告者負担の軽減に資するものと認められること、②「業務出張・研修・その他」の削除については、当該項目により得られるデータの利活用状況がみられず、引き続き把握する行政利用上のニーズも認められないことから、おおむね適当である。

ただし、「業務出張・研修・その他」を削除することに伴い、報告者が回答するに当たり紛れが生じないように、業務出張や研修については本調査事項で把握する旅行には含まれないことを記入要領に明記する必要があることを指摘する。

図 8

(ク) 「スマートフォン、パソコンなどの使用状況」の追加

本申請では、調査票Aにおいて、図9のとおり、2日間にわたり、スマートフォン、パソコンなどの使用目的、使用時間帯及び使用時間数を把握する調査事項を追加する計画である。

これは、近年、スマートフォン等が急速に普及する中、別途の調査事項である「生活時間について」の調査対象日となる2日間におけるスマートフォン、パソコンなどの使用状況（使用目的、使用時間帯及び使用時間数）を把握し、「生活時間について」において把握されたデータと合わせて分析することとするものである。

これについては、スマートフォン、パソコンなどの使用が1日の生活時間の配分や生活行動に及ぼす影響の把握に資するものと認められることから、おおむね適当である。

ただし、「交際・つきあい・コミュニケーション」の対象の区分のうち「友人・知人」については、報告者が回答するに当たり紛れが生じないように、実際に会ったことのない人はこれに含まないことを調査票上にも明記する必要があることを指摘する（図10参照）。

図 9

変更案

現 行

(新設)

23 スマートフォン/パソコンなどの使用について 指定された第1日・第2日に 学業や仕事以外で使用した場合に記入してください (使用しなかった場合はBページへ)

(1) 何をするために、どの時間帯に使用しましたか
・下の目的のそれぞれについて、少しでも使用した時間帯すべてに記入してください
 ・学業や仕事として使用した場合は除きます

	【第1日】10月 日()曜日					【第2日】10月 日()曜日				
	午前	午後	午前	午後	曜日	午前	午後	午前	午後	曜日
ネットショッピング (買い物やサービスを選んでる時間を含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
趣味・娯楽 (映画鑑賞・音楽鑑賞・電子書籍による読書・ゲーム など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
交際・つきあい・コミュニケーション ・通話・メール・チャットなどによる会話 ・SNSやブログなどのソーシャルメディアで 行う情報交換やメッセージのやりとり など (単に情報を得るための使用は除く)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
家族と	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
友人・知人と	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
家族・友人・知人以外の 人と	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他の使用 (ニュースの閲覧やその他の情報収集 など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(2) 合計でどのくらい使用しましたか 次の0-5の数字で記入してください
・学業や仕事として使用した時間は除きます

0: まったく使用しなかった 1: 1時間未満 2: 1~3時間未満
 3: 3~6時間未満 4: 6~12時間未満 5: 12時間以上

第2日も記入してください

図 10

統計委員会修正案

23 スマートフォン/パソコンなどの使用について 指定された第1日・第2日に 学業や仕事以外で使用した場合に記入してください (使用しなかった場合はBページへ)

(1) 何をするために、どの時間帯に使用しましたか
・下の目的のそれぞれについて、少しでも使用した時間帯すべてに記入してください
 ・学業や仕事として使用した場合は除きます

	【第1日】10月 日()曜日					【第2日】10月 日()曜日				
	午前	午後	午前	午後	曜日	午前	午後	午前	午後	曜日
ネットショッピング (買い物やサービスを選んでる時間を含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
趣味・娯楽 (映画鑑賞・音楽鑑賞・電子書籍による読書・ゲーム など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
交際・つきあい・コミュニケーション ・通話・メール・チャットなどによる会話 ・SNSやブログなどのソーシャルメディアで 行う情報交換やメッセージのやりとり など (単に情報を得るための使用は除く)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
家族と	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
友人・知人と	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
家族・友人・知人以外の 人と	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他の使用 (ニュースの閲覧やその他の情報収集 など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(2) 合計でどのくらい使用しましたか 次の0-5の数字で記入してください
・学業や仕事として使用した時間は除きます

0: まったく使用しなかった 1: 1時間未満 2: 1~3時間未満
 3: 3~6時間未満 4: 6~12時間未満 5: 12時間以上

第2日も記入してください

(ケ) 「介護支援の利用の状況」の変更

本申請では、調査票A及び調査票Bの介護支援の利用の状況に係る調査事項について、以下のとおり (図 11 参照)、介護支援の利用頻度の区分を変更する計画である。

- ① 「月に1日以内」と「月に2~3日」を「月に3日以内」に統合する。
- ② 「週に2~3日」を「週に2日」と「週に3日」に分割する。
- ③ 「週に4日以上」を「週に4~5日」と「週に6日以上」に分割する。

これについては、これまでの調査結果における「介護支援を利用している」者の利用頻度に係る各区分の出現状況を見ると、「月に1日以内」及び「月に2~3日」の割合が低く、「週に2~3日」や「週に4日以上」の割合が高い状況となっていることを踏まえ、利用頻度の区分の統合又は分割を行うものであり、介護支援の利用の状況と生活時間の配分への影響との関係のよりの確な把握に資するものと認められることから、適当である。

図 11

変更案	
<p>28 ふだん世帯員以外の人から介護の手助けを受けていますか</p> <p>・世帯員以外の人からの介護の手助けとは、別居の親族からの手助けや、介護サービス(訪問介護、デイサービス)などをいいます</p> <p>・介護には、介護保険制度で要介護認定を受けていない人に対する介護も含めます</p>	<p>受けていない 受けている</p> <p>月に3日以内 週に1日 週に2日 週に3日 週に4~5日 週に6日以上</p>
現行	
<p>30 ふだん世帯員以外の人から介護の手助けを受けていますか</p> <p>・世帯員以外の人からの介護の手助けとは、別居の親族からの手助けや、介護サービス(訪問介護、デイサービス)などをいいます</p> <p>・介護には、介護保険制度で要介護認定を受けていない人に対する介護も含めます</p>	<p>受けていない 受けている</p> <p>月に1日以内 月に2~3日 週に1日 週に2~3日 週に4日以上</p>

(コ) 「在学・在園の状況」の変更

本申請では、調査票A及び調査票Bの在学・在園の状況に係る調査事項について、図12のとおり、これまで、保育所(園)に在園している場合は延長保育の利用の有無を、また、幼稚園に在園している場合は預かり保育の利用の有無をそれぞれ把握していたが、保育所(園)や幼稚園の別にかかわらず、また、認定こども園に在園している場合も含め、「ふだんの在園時間」を把握する計画である。

これは、世帯により保育時間数や延長保育及び預かり保育の利用時間数が異なるため、子供の在園時間の実態をよりの確に把握することができるよう、また、平成27年4月から教育と保育を制度的に一体として提供する新たな幼保連携型認定こども園が創設されたことに伴い、これに在園している場合も含めて、ふだんの在園時間を把握するよう変更するものである。

これらについては、子供の在学・在園の状況が保護者の生活時間の配分に及ぼす影響等のよりの確な分析に資するものと認められることから、おおむね適当である。

ただし、保育所、幼稚園等に在園している子供の「ふだんの在園時間」の区分のうち、「12時間以上」については、他の統計調査の結果等に鑑みると、当該区分の回答数が少数に止まる可能性も考えられることから、「8~11時間」及び「12時間以上」の区分をそれぞれ「8~10時間」及び「11時間以上」に修正する必要があることを指摘する(図13参照)。

図 12

変更案							現行												
32 在学・在園の状況 ・延長保育、預かり保育などを利用している場合は、それも含めた1日の合計時間について記入してください							34 在学・在園の状況 ・在学・在園の状況および日々の保育の利用状況について記入してください												
保育所(園) 幼稚園 認定こども園などに在園 母だんの在園時間				小学校に在学 学童保育などを利用している			小学校に在学 学童保育などを利用していない			在学・在園していない									
4時間以下	5~7時間	8~11時間	12時間以上							保育所(園)に在園	幼稚園に在園								
										延長保育を利用している	延長保育を利用していない	預かり保育を利用している	預かり保育を利用していない	学童保育などを利用している	学童保育などを利用していない				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

図 13

統計委員会修正案											
32 在学・在園の状況 ・延長保育、預かり保育などを利用している場合は、それも含めた1日の合計時間について記入してください											
保育所(園) 幼稚園 認定こども園などに在園 母だんの在園時間				小学校に在学 学童保育などを利用している			小学校に在学 学童保育などを利用していない			在学・在園していない	
4時間以下	5~7時間	8~10時間	11時間以上								
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(サ)「携帯電話、パソコンなどの使用の有無」の削除

本申請では、調査票Bの携帯電話、パソコンなどの使用の有無に係る調査事項について、図 14 のとおり、削除する計画である。

これについては、現在、携帯電話やパソコンの使用が一般的となったことや、他の調査においてもこれらの機器の使用状況を把握していることから、引き続き本調査事項を把握する必要性は低いとの判断により削除するものであり、報告者負担の軽減に資するものと認められることから、適当である。

図 14

変更案

(削除)

現行

6 くだん自分の用途で携帯電話やパソコンなどを使用していますか

・使用しているには、あなた自身が所有している場合のほか、世帯で共有しているものや学校・職場所有のものを、時間を問わず自分の用途で使用している場合も含めます

・学校や職場のみで使用している場合は除きます

(当てはまるものをすべてに記入してください)

使用している	パソコン	使用していない
携帯電話 ○	○	○

(シ)「生活時間配分」の変更

本申請では、調査票Bの生活時間配分に係る調査事項について、以下のとおり（図 15 参照）、変更する計画である。

- ① 「インターネットの利用」の調査項目を「スマートフォン・パソコンなどの使用」に変更する。
- ② 「スマートフォン・パソコンなどの使用」について主行動と同時行動それぞれの別に把握する。

これは、近年のスマートフォン等の急速な普及を踏まえ、インターネットに接続していない状態での利用も含めてこれらの情報通信機器の使用状況を把握できるよう、「インターネットの利用」から「スマートフォン・パソコンなどの使用」に変更するとともに、スマートフォン等の使用の実態をよりの確に把握するため、主行動と同時行動の別にその使用実態を把握するよう変更するものである。

これらについては、スマートフォン等の使用が生活時間の配分に及ぼす影響のよりの確な分析に資するものと認められることから、適当である。

図 15

変更案

16 生活時間について

指定された第1日と第2日の行動について15分単位で記入してください

時刻	おもに何をしていましたか ※15分ごとに おもなもの一つだけ 記入してください	同時に何か 他のご をしていましたか ※複数ある場合は 一つだけ記入してください	場 所				一緒にいた人							時刻 コード
			1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	
0:00			1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	01
30			1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	02

現行

17 生活時間について

指定された第1日と第2日の行動について15分単位で記入してください

時刻	おもに何をしていましたか ※15分ごとに おもなもの一つだけ記入してください	同時に何か 他のご をしていましたか ※複数ある場合は 一つだけ記入してください	インターネット の利用	場 所				一緒にいた人							時刻 コード
				1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	
0:00				1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	01
30				1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	02

イ 報告を求める者の変更

本申請では、報告を求める者の数について、前回調査と比べ、調査票Aについては約7万8000世帯（約18万4000人）から約8万3000世帯（約18万6000人）に、調査票Bについては約4,700世帯（約1万1000人）から約4,900世帯（約1万1000人）に変更する計画である。

これについては、前回調査においては、平成23年3月の東日本大震災の発生に伴い、被害が甚大であった岩手県、宮城県及び福島県（以下「東北3県」という。）の一部地域の調査区を調査対象から除いて実施されたが、現在は、東北3県においても本調査を実施することが可能であることから、前回調査の東日本大震災への対応前の当初計画と同程度の標本規模とするものであり、適当である。

ウ 報告を求めるために用いる方法及び報告を求める期間の変更

本申請では、前回調査で調査票Bに限定して導入したオンライン調査について、調査票Aにも拡大し、全ての報告者を対象にオンライン調査を導入するとともに、これに伴い、報告を求める期間について従前の24日間に25日間に1日延長する計画である。

これらについては、以下の理由から、適当である。

- ① オンライン調査の導入に関しては、公的統計の整備に関する基本的な計画（平成26年3月25日閣議決定。以下「第Ⅱ期基本計画」という。）において推進を図ることとされているほか、個人情報保護意識の高まりや報告者のライフスタイルの多様化等への対応、電子調査票に実装されるチェック機能による調査員等の調査票の審査業務の負担軽減、結果精度の確保・向上等にも資するものであること。
- ② 調査票Aへのオンライン調査の拡大に伴い、経路機関である都道府県における調査票の提出状況の把握等に必要な時間を確保するため、報告を求める期間を1日延長するものであること。

一方、平成27年国勢調査（総務省所管の基幹統計調査）においてオンライン調査が全面的に導入されたことにより、統計調査におけるスマートフォン、タブレットなどによる回答が国民に浸透したものと考えられることから、本調査におけるオンライン調査の導入をより効果的なものとするためには、これらの情報通信機器による回答を可能とすることが重要である。しかしながら、本調査におけるオンライン調査の実施に当たっては、政府統計共同利用システムを利用して実施することとしており、現時点では同システムがスマートフォン、タブレットなどによる回答に対応していないことなどから、今回の調査においてこれらの情報通信機器による回答に対応できないことはやむを得ないものとする。

エ 集計事項の変更

本申請では、調査票Aにおける「スマートフォン、パソコンなどの使用状況」に係る調査事項の追加、「ふだんの健康状態」や「在学・在園の状況」に係る調査事項の変更等に伴い、関連する集計事項を変更する計画である。

これらについては、スマートフォン、パソコンなどの使用が1日の生活時間の配分や生活行動に及ぼす影響、有業者だけでなく無業者の健康状態が生活時間の配分や生活行動に及ぼす影響、子供の在学・在園の状況が保護者の生活時間の配分に及ぼす影響等のよりの確かな把握に資するものと認められることから、おおむね適当である。

ただし、「在学・在園の状況」に係る調査事項について、より有用な集計を行い、ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画に関する施策の検討に資する観点から、夫婦共働きか否か（有業者、無業者の別）だけではなく、有業者については正規の職員・従業員、正規の職員・従業員以外の別の詳細な類型別に表章する必要があることを指摘する。

オ 東日本大震災の影響に伴う調査計画の規定の削除

本申請では、前回調査の実施に当たり、東日本大震災の影響により東北3県の一部地域を調査対象地域から除く等としていた調査計画の規定を削除する計画である。

これについては、現在は、東北3県においても他の都道府県と同様の調査計画により本調査を実施することが可能であるため、前記の対応に係る調査計画の規定を削除するものであり、本調査の実施に当たって東日本大震災の影響が解消されたことによる変更であることから、適当である。

2 統計委員会諮問第28号の答申（平成23年1月）で示された「今後の課題」への対応状況

本調査については、前回調査に係る統計委員会諮問第28号の答申（以下「前回答申」という。）における「今後の課題」において、国民の個人情報保護に関する意識の高まり、ライフスタイルや居住形態の変化等といった調査環境の変化に的確に対応しつつ、調査の円滑な実施を確保するため、調査票の提出方法の多様化について検討を行う必要があると指摘されている。

これについて、調査実施者は、前記（2）のウのとおり、調査票Bだけでなく、調査票Aについてもオンラインによる報告を可能とし、全ての報告者を対象にオンライン調査を導入することとしている。また、調査実施者は、封入又は郵送による調査票の提出方法の導入についても検討を行ったが、前回調査においてやむを得ない事情から封入又は郵送により提出された調査票の記入状況をみると、これらの調査票の都道府県での補筆割合は、封筒の封がされずに調査員が回収した調査票の約2倍となっているほか、補筆修正ができず集計から除外された調査票の割合も2～3倍となっており、調査結果の正確性の確保の観点から、封入又は郵送による調査票の提出方法を全面的に導入することは困難としている。

これらの調査実施者の対応のうち、全ての報告者を対象にオンライン調査を拡大し、調査員又はオンラインによる提出方法を原則とすることは、前回答申における指摘への対応として適当である。また、封入提出や郵送提出でなければ調査票が回収できない場合等に限り、これらの提出方法を認めることは、やむを得ないものとする。

3 第Ⅱ期基本計画における指摘事項への対応状況

本調査については、第Ⅱ期基本計画において、欧州統計家会議（CES）による「生活時間調査に関するガイドライン」（Guidelines for Harmonizing Time-Use Surveys）の内容を精査し、本調査の調査計画の検討に活用することとされている。

これについて、調査実施者は、今回調査の調査計画の検討に当たって当該ガイドラインの内容を精査したところ、本調査の調査計画は、当該ガイドラインの勧告におおむね対応したものであるとしている。

この調査実施者の結論については、次の理由から、適当である。

- ① 調査実施者の結論のとおり、本調査の調査計画は、当該ガイドラインの勧告におおむね対応したものであること。
- ② 当該ガイドラインに勧告として掲げられている事項のうち、主観的幸福感の指標の把握につ

いては本調査で対応していないが、主観的幸福感の指標の把握に関しては我が国においても様々な意見があるところであり、慎重に検討すべきと考えられること。

4 今後の課題

報告者の利便性の向上を図り、オンライン調査の更なる利用を促進する観点から、今後の情報通信技術の更なる発展及び政府統計共同利用システムの改修状況等も勘案しつつ、次回調査（平成 33 年調査）に向けて、パソコン以外に、スマートフォンやタブレット等の他の情報通信機器による回答が可能となるよう検討する必要がある。検討に当たっては、今回のオンライン調査の結果についても検証を行い、その結果をも踏まえ対応する必要がある。